夢を創造する。

二〇一八

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校
HEART AND CREATION

旭川市から鉄道で2時間の所に、人口わずか800人弱の北海道で一番小さな村「音威子府」があります。
森に囲まれたこの村にはコンビニは1軒だけ。カラオケやゲームセンターなどはありません。あるのは豊かな自然と都会では見ることの難しい幻想的な星空。
この小さな村に、日本全国から志を持った生徒がやって来ます。親元を離れて暮らす3年間は、色々な出会いと感動で溢れています。
3年後の自分を創造して下さい。ものづくりに夢中になり、仲間との絆を築き、親の有難味を知る。自分にとってやりたい事は何なのか。
この小さな村には、学校だけでは学べない地域との関わりがあります。小さな村だからこその学び。ものづくりを通しての自分づくり。
その魅力を少しだけ紹介します。

04　ものづくりを通して豊かな心を育てる
05　特色を活かしたカリキュラム
06　多様な連携授業
07　作品が生み出される教室
08　努力の結晶、美術・工芸作品
10　スクールスナップ
12　おといマップ
13　進路実現に向けての取り組み
15　チセネシリ寮での生活
16　交通機関の案内

ものづくりを通して、豊かな心を育てる

本校は北海道で唯一の「工芸科」の高校です。木工芸を中心としたものづくりを通して、自分と向き合い素材と向き合います。造形体験の中で様々なモノと向き合う事で豊かな心を育みます。

入学してまず、木工の基礎・基本と道具の手入れを徹底的に身に付けます。制作活動で使用する工具は音威子府村から支給され、3年間ずっと苦楽を供にします。手入れを怠ると痛い思いをすることもありますが、それもここならではの学びです。

木工芸では木材を使っておもちゃから家具まで幅広く制作をしていきます。制作を通して、自分の思いを形で表す事も授業の中で学んでいきます。

美術では、油彩はもちろん、水彩や日本画、基礎になるデッサンも行います。これらの様々な表現方法を学ぶことで作品の幅を広げ、自己表現への幅も広げます。

他にも、紙工作や金属工芸、ＣＡＤによる製図など多岐にわたって学びを深めます。

工芸Ⅰ：カシュー塗りについての説明

木工制作Ⅰ：動物パズルの制作

木工制作Ⅰ：動物車の制作

木工制作Ⅱ：スツールの制作

絵画：日本画体験

特色を活かしたカリキュラム

工芸科ならではの学びがあります。工芸実習はもちろん、2年生になるとコース選択があり、美術・工芸でのより専門的な技能と知識を高めます。

その背景には系統的に組まれた教育課程があります。1年生は木工の基礎基本をしっかり学び、2年生で美術コースと工芸コースに分かれます。共通科目では機械実習も行われ、機械の操作を習得します。3年生になると卒業制作へ向けての取り組みが始まります。課題研究は全員が木工作品を制作します。工芸コースではテーマを設定し、設計から制作まで行います。美術コースでも各自テーマを設け、F100号のキャンバスに思い思いの絵画を描きます。制作後は各自ポートフォリオにまとめて提出します。

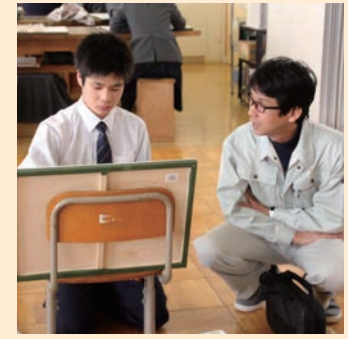
美術研究：卒業制作 F100 号

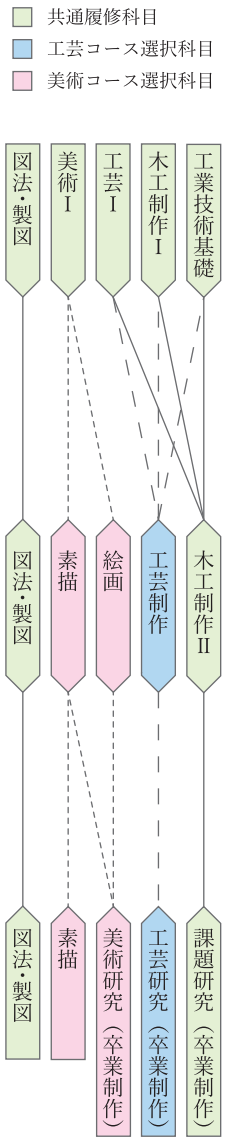
木工制作Ⅱ：ミニチェスト制作

工芸Ⅰ：カシュー塗り

工芸研究：卒業制作

絵画：絵巻物の制作


美術Ⅰ：絵画の制作



教育課程表（平成29年度入学生）

	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
1年	総合学習	LHR	Ⅰ	木工制作		木材理論	図法・製図	工業技術基礎				社会と情報		コミュニケーション英語Ⅰ		工芸Ⅰ		美術Ⅰ		保健		体育		化学基礎		数学Ⅰ		現代社会		国語総合		
2年 工芸コース 美術コース	総合学習	LHR	工芸制作			素描	インテリア史	Ⅱ 木工制作						図法製図		家庭基礎		コミュニケーション英語Ⅰ		保健		体育		生物基礎		数学Ⅰ		A 地理		国語総合		
				絵画																											
3年 工芸コース 美術コース	総合学習	LHR	工芸研究				課題研究				図法製図	Ⅰ 英語表現				体育				地学基礎		A 数学			A 世界史		国語表現				
			美術研究			素描																									

多様な連携授業

高大連携教育

高大連携教育では、教育活動を更に発展させるための様々な取り組みを行っています。東海大学の教授を本校に招いて年に4回の授業を行っています。学年別にわかりやすい授業となっており、「おもちゃについて」「家具デザインについて」「ポートフォリオの制作」などの内容で実施しています。

デザインスクール

デザインスクールは、色々な視点で物を見ること、デザインすることを学ぶプログラムです。東海大学との連携事業でもあり、札幌キャンパスに訪れ、大学施設の見学やデザインの授業を受けます。この授業ではペアになった相手に帽子をデザインして制作し合い、その成果を発表します。

本校は教育のグローバル化に伴い、家具デザインの先進国であるスウェーデンとの国際理解教育を推進しています。姉妹提携を結んでいるレクサンド高校（スウェーデン）へ毎年秋頃に3名の生徒を派遣し、レクサンド高校から数名の生徒を受け入れて、交換留学を行っています。この国際理解教育は、知識・技術・思考力・価値観などを豊かにする貴重な教育実践です。

国際理解教育

▲レクサンド高校の日本語クラス

▲ダーラナホースの工房前

▲公立大学カールマルムステン。家具の名門校

作品が生み出される教室

3．造形室

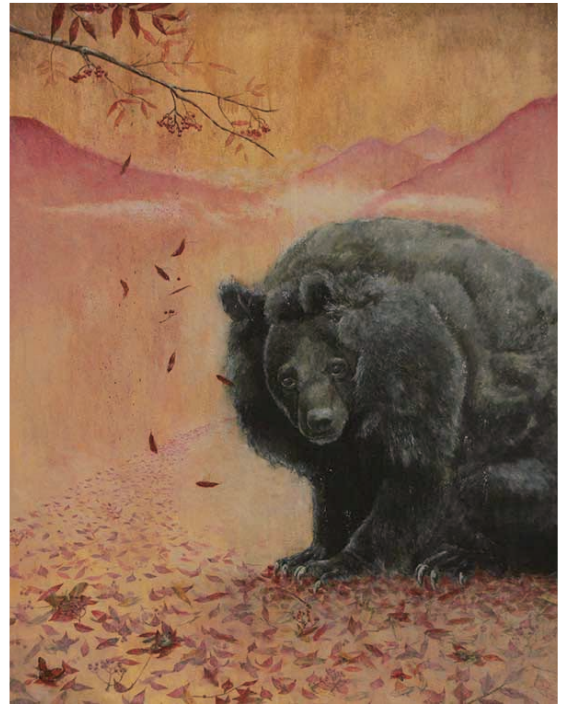
1．組立実習室

4．ホール

2．機械室

1．組立実習室　全学年がほぼ毎日授業を行っています。　2．機械室　大型製材機で木材の加工を行います。　3．造形室　イーゼルを立てて絵画を描きます。　4．ホール　3年間の集大成「卒業制作」が1年間展示されています。（見学可能です。事前に連絡をお願いします。）

努力の結晶、美術・工芸作品

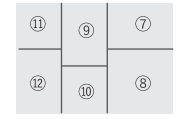


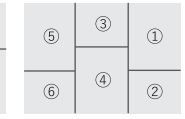
授業や部活で制作されたこれらの作品は日頃の学びの結晶です。

卒業制作は3年間の集大成。先生や仲間とじっくりと話し合いながらイメージを形にしていきます。仕上げるまでの過程は常に山あり谷あり。自分と素材に向き合い、今まで学んだことをすべて注ぎ込みます。こうして制作された作品は世界でただ一つの作品です。

工芸部・美術部の活動も盛んで、全国大会でも常連校。一般の公募展においても優秀な結果を残しています。日々の積み重ねが成果として表れています。

規模の小さな高校ですが、美術・工芸の教員が多いのも大きな特徴です。





① 野上華歩「アイデンティティ」高文連全道優秀作品／② 堀本宗徳「生き生き生き生き生きて生く」高文連全道優秀作品／③ 城守爽音「甘餌」高文連全道優秀作品／④ 城守爽音「ななかまど」美術研究 卒業制作／⑤ 稲辺みのり「それはもうわかったけど」高文連全国推薦作品／⑥ 小池天通「三日目の昼」美術研究 卒業制作／⑦ 大田喜日向 ダイニングテーブル 課題研究 卒業制作／⑧ 大橋美胡 収納棚 課題研究 卒業研究／⑨ 藤原有彩 猫で。愛でて。課題研究 卒業制作／⑩ 石岡恋 家築 課題研究 卒業制作／⑪ 三浦快 P-man & 2-No-Ⅲ 課題研究 卒業制作／⑫ 富田真之介 Rocking chair 課題研究 卒業制作

スクールスナップ

授業・行事・その他の活動を紹介します。

8

クリーンおといねっぷ

村の行事の清掃活動に地域の方々と一緒に参加します。

6

赤ちゃんふれあい体験

その年に生まれた新生児とお母さんに協力して頂き、実際に赤ちゃんと触れ合うことで命の大切さを学びます。

4

森林探訪

日頃から扱っている木材の知識をより深める為に、実際に山へ入り伐採実習など行います。

1

１日体験入学

実際に本校へ来て制作体験をしたり、校内の見学をします。保護者への説明会も行います。

9

卒業制作発表

３年間の集大成を全校生徒の前で発表します。東海大学の教授を招き講評して頂きます。

2

１年生宿泊研修

毎年１学年で施設見学などを通して、集団生活の意識を向上させます。

10

図法･製図

制作に関わる図面の基礎基本を、ドラフターと製図道具を使って学びます。

7

木の手づくり展（札幌・旭川）

生徒が制作した作品の展示会です。毎年、札幌と旭川で行われ、学校説明会やワークショップも行っています。

5

学校祭（工芸品販売）

年に１度のビッグイベント学校祭。工芸品の即売会を行うのは本校ならでは。

3

桟積み

２年後に使用する木材を倉庫に山積みにします。これは各学年で行います。

ボランティア活動
週末になると、筏島にある「砂澤ビッキ記念館」で接客や作品解説のボランティア活動を行っています。

美術研究
F100 号のキャンバスを自ら制作する所から始まります。そのキャンバスに思い思いの絵を描いて行きます。

クロスカントリースキー部
インターハイ総合優勝多数。国内トップクラスの強豪校。日々の厳しいトレーニングに励んでいます。

工業技術基礎
鑿（のみ）鉋（かんな）鋸（のこ）等の工具の使い方や、木材加工の基礎・基本を学びます。

体育（スキー授業）
冬になると音威富士スキー場でスキー学習をします。本校は全国から生徒が来ているので、初めてスキーをする生徒は毎年１人はいます。

本校は、全校生徒が部活動に所属しているという大きな特徴があります。全校生徒の半分以上が美術部・工芸部で精力的に活動しています。

クロスカントリースキー部はインターハイでも優秀な成績を残しています。他にもバドミントン部・アルペンスキー部・家政部・文芸部・軽音楽部がそれぞれの目標に向かって日々邁進しています。

地域との関わりも多く、村民運動会や学校祭・筏島ボランティア・クリーンおといねっぷなどの活動は「若い力」として村民の方々からの期待も大きいです。

小さな村ならではの取り組みが、生徒にとっての「学び」に繋がり、地域との交流は社会性を育みます。

四季折々の自然豊かな環境で過ごす時間はかけがえのないものになります。この環境だからこそ、豊かな心を育み、創造力を養います。

昼休み
寮の賄いさんがお弁当を届けてくれます。教室では仲良く楽しく美味しいお弁当を食べます。

冬の登校
積雪量の多い音威子府では、氷点下 30 度になることもあります。生徒たちは天候に左右されず、毎日元気に登校します。

村民運動会
全校生徒で参加する行事。地域との交流をより深めるとともに、競技を通して団結力を養います。

工芸部
木工芸を中心に制作する部活動です。高文連や校内展示に向けた活動を行っています。

美術部
高文連や学生美術全道展などの大会へ向けて、日々の努力を惜しまず励んでいます。

おといマップ

音威子府は北海道屈指の積雪量を誇る、北海道で一番小さな村です。ここには必要最低限のお店と診療所しかありません。都会の様な利便性には欠ける村です。

多くの生徒は、セイコーマート（コンビニ）と千見寺（ちけんじ）商店で買い物をします。買う物は大抵、お菓子や飲み物、それに夜食用のカップ麺などが多いのではないでしょうか。食べ盛りの生徒達にとってはなくてはならない存在です。一路食堂では気さくなお兄さんが出迎えてくれて、生徒が行くと飴がもらえる事もあります。

村役場に併設されている公民館には小さな図書館があり、利用する生徒もいます。また、２階の大ホールは様々なイベントで使用され、秋には村の文化祭が催されます。美術部・工芸部の生徒たちの作品を展示し村民の方々へ日頃の努力の成果を披露しています。

音威子府駅は生徒たちが帰省・帰寮で毎回利用する交通機関です。音威子府は小さな村ですが、特急列車も停まる駅となっており、生徒のみならず村民の方々にとっても重要な交通手段の一つとなっています。

夏は鮮やかな緑に囲まれ、冬には一面の銀世界に包まれます。音威富士スキー場ではウィンタースポーツも楽しめます。

自然に囲まれている幸せ、決して便利ではありませんが、音威子府村でしか気づくことのできない有難味が確かにあります。

進路実現に向けての取り組み

各学年、年間を通して卒業後の進路を積極的に考える取り組みを行っています。様々な進路講話や適性検査、各種検定など定期的に実施しています。他にも、インターンシップや、3年生が後輩たちに進路での実体験を話す「先輩の声を聞く会」などを行っています。地区別懇談会では札幌・旭川・音威子府で保護者面談を行い、学校や寮での生活、進路について話し合います。長期休業を利用してのオープンキャンパスへの積極的な参加を促したり、放課後を利用して進学講習を行ったり、学校を挙げて進路実現のフォローをしています。

本校は工芸や美術を多く学びますが、進学先は芸術分野ばかりではありません。個々に合った進路先が見つかるように支援をしています。さらに卒業生が来校して進学先や就職先での実際の取り組みなど聞ける機会もあります。

▶先輩の声を聞く会

◀進路ガイダンス

▶インターンシップ

◀職業ガイダンス

		1　年	2　年	3　年
前期	4	オリエンテーション	進路ガイダンス	進路ガイダンス
	5	進路ガイダンス	進路希望調査	就職者説明会
	6	進路希望調査	職業レディネステスト	進路面談
		地区別懇談会		インターンシップ
				進路用写真撮影
				模擬面接指導
	7			三者面談
	8	コース制ガイダンス		進学者説明会
	9			進路希望調査
後期	10	コース選択	進路希望調査	
	11	進路希望調査	地区別懇談会	
	12	地区別懇談会	職業ガイダンス	
		職業ガイダンス	インターンシップ	
		インターンシップ		
	1	先輩の声を聞く会	先輩の声を聞く会	先輩の声を聞く会（派遣）
	2	進路適性検査	面接指導	進路活動の反省
	3		企業説明会	

公務員試験受付
公務員試験
求人票受付
就職応募
就職採用
自衛官候補生試験
AO入試
大学入試センター試験出願
専門学校推薦入学試験
大学推薦入学試験
大学入試センター試験
大学一般入学試験

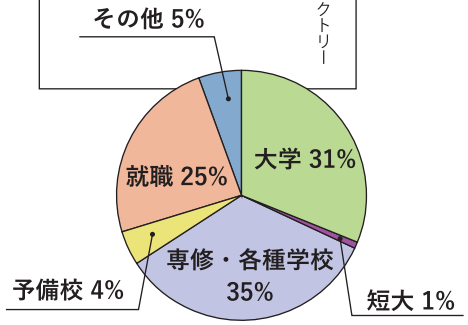
過去3年間の進路

主な進学先

東海大学
東北芸術工科大学
神戸芸術工科大学
日本大学
佐賀大学
近畿大学
北海道教育大学岩見沢校
北海道医療大学
北海学園大学
多摩美術大学
女子美術大学
北星学園大学
都留文科大学
長岡造形大学
京都造形藝術大学
沖縄県立芸術大学
金沢美術工芸大学
北海道情報大学
京都伝統工芸大学校
北海道職業能力開発大学校
北海道芸術デザイン専門学校 等

主な就職先

士別市役所
枝幸町役場
富良野広域連合消防本部
㈱日興ジオテック
㈱カンディハウス
㈲北嶺工匠
㈱アイワード
医療法人社団ねっぷ会
陸上自衛隊
㈱萬世閣
硝子工房アートファクトリー
㈱サワエ　など



チセネシリ寮での生活

全国各地から入学する生徒のためにチセネシリ寮（寄宿舎）があります。寮では「集団生活」を通して、規則を守ること、協力や助け合いの精神を学び、自立性や自主性・自己管理能力を身に付けます。

このチセネシリ寮は男子寮と女子寮が併設されており、食堂を中心に分かれてます。近年女子生徒の増加により、女子寮の増築や改修工事が行われ、より住みよい環境になりました。寮は学校のすぐ裏に位置し、徒歩2分の距離です。

また、学校とは別に寮生会による寮行事（新入寮生歓迎会・寮祭等）も定期的に行われています。

本校は遠方からの入学者が多いため、ほとんどの生徒が寮で仲間たちと寝食をともにすることになります。

休日には村の施設や学校開放などで運動をして汗を流したり、買い物へ出かけたりします。夜になると娯楽室に集まって雑談したり、テレビを観たりして楽しんでいます。

▲4月に参加者を募って音威子府の冬山を登ります。

▲寮のレクレーション。村外へ行きます。

▲新入寮生歓迎会はパフォーマンスがいっぱい。

▲寮レクでの楽しい時間。

▲休日の体育館開放を利用して汗を流します。

◀毎日の食事を作ってくれる賄いさん

◀栄養バランスの考えられた食事

◀仲間と食べる美味しいご飯

◀美味しいと笑顔に

入学生納入金一覧（H29 年度入学者の場合）

【４月入学時の納入金】

単位（円）

通学生・寮生	入学金	5,650	４月分納入金		
	宿泊研修費	20,000			
	ジャージ代（直し等を行う場合は別料金）	16,500	＊ＰＴＡ会費	1,200	
	上靴代	6,000	＊生徒会費	2,000	
	校章代	410	＊図書費	200	
	調理実習費	2,000	＊学級費	800	
	工芸実習費	8,500	＊体育文化振興費	2,400	
	集合写真（生徒のみ）	860	＊美術工芸用具費	2,000	
	集合写真（保護者含）	860	見学旅行積立	7,000	
			アルバム積立	900	
	◎工芸工具 @41,328 ◎製図器 @ 5,870 ◎作業服 @10,626 } 村負担 50,000	7,824	身分証明書用写真代	1,460	
			日本スポーツ振興センター負担金	1,650	
			北海道高等学校安全互助会	1,400	
	（※１　授業料	9,900）	ＰＴＡ賠償責任保障制度	400	
	小計	**68,604**	**小計**		**21,410**
寮生	寮生会費（１年分）	2,400	寮費（４月分）		24,700
計	**通学生　・・・　90,014**		**寮生　・・・　117,114**		

【５月以降の納入金】

単位（円）

	前期（５月～９月）		後期（１０月～３月）	
通学生・寮生	＊ＰＴＡ会費	1,200	見学旅行積立（計 18 回）	7,000
	＊生徒会費	2,000	アルバム積立（計 18 回）	900
	＊図書費	200	（※注１　授業料	9,900）
	＊学級費	800		
	＊体育文化振興費	2,400		
	＊美術工芸用具費（計６回）	2,000		
	見学旅行積立（計 18 回）	7,000		
	アルバム積立（計 18 回）	900		
	（※注１　授業料	9,900）		
	小計	**16,500**	**小計**	**7,900**
寮生	寮費	24,700	寮費	24,700
計	**通学生　・・・　16,500** **寮　生　・・・　41,200**		**通学生　・・・　7,900** **寮　生　・・・　32,600**	

※１　授業料について
入学時に高等学校就学支援金の申請をされ認定となった世帯については、北海道から授業料額が支給となるため授業料の納付は必要ありません。（認定結果は６月頃にお知らせする予定です。）

※２　物価変動等により、金額が変更になる場合があります。

本校は遠方からの生徒がほとんどです。それに伴い年５回の長期休業を設けています。夏休み、冬休み、春休みの他に、４月末からのゴールデンウィーク休みと10月始めの秋休みを設定しています。

長期休業中のチセネシリ寮は閉鎖となり、寮生は各家庭に帰省することになります。帰省に際しての交通費等は各家庭の負担となります。通常の土日や祝日を利用して帰省することも可能です。

学校がある日の生徒たちは、日々忙しく過ごしています。起床の際は寮内に音楽が流れ、その後点呼をします。各自朝食を摂り、登校します。昼食は寮の賄いさんが作ってくれたお弁当を、学校に届けてもらい、教室で食べます。午後の授業を終えると放課後の活動が始まります。部活動や進学講習・生徒会活動と様々です。夕食時間までに帰寮し、20時まで自由な時間を過ごします。学校祭準備などの行事の際には、この時間を利用して作業することもあります。平日は毎日学習時間を設け、日々の学習を積み重ね、習慣付けを行っています。夜の点呼が終わった後は消灯時間まで自由な時間です。

▼女子寮の部屋の様子

登校日の寮日課

起床	6:５０～
点呼	6:５５～
朝食	7:００～7:３０
登校	～8:１５
昼食	１２:２５～１３:０５
夕食	１７:５０～１８:３０
入浴	１６:００～２０:００
学習	２０:００～２１:００
清掃	２１:００～
点呼	２１:１５～
就寝準備	２２:３０～
消灯	２２:５０

交通機関の案内

● 飛行機

・東京～旭川空港　約 2 時間 15 分　　・大阪～旭川空港　約 2 時間 40 分

・東京～新千歳空港　約 2 時間 10 分　・大阪～新千歳空港　約 2 時間 30 分

● JR

宗谷本線特急宗谷・特急サロベツ

・札幌～音威子府間　約 3 時間 20 分

・旭川～音威子府間　約 1 時間 50 分

● 自家用車

・札幌より道央自動車道（札幌 IC ～士別剣淵 IC）を利用して約 4 時間

※見学の際は予めご連絡をお願い致します。

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

〒098-2501　北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地の1
TEL　01656 - 5 - 3044　FAX　01656 - 5 - 3838
E-mail　otokoh@seagreen.ocn.ne.jp
Web　http://otoineppu-ac-h.server-shared.com
Blog　http://blog.goo.ne.jp/otokoh

blog

Web